

科目名称	幼稚園教育実習指導
授業コード	BM30A
英語名称	Guidance for Teaching Practice (Kindergarden)
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	安部 久美, 奥平 かおり, 小林 咲里亜, 新規未定教員, 日色 智絵, 渡部 晃子, 田口 直子, 角田 幹子, 金子 喜久枝, 高橋 由佳
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育実習の目的や意義を学び、貴重な実習の機会を有意義に過ごすことができるように、実習生に必要な学習態度や資質を身につけ、保育者としての専門性を深める。 ・幼児保育学科のディプロマポリシーに掲げる保育者としての実践的な活動を支える専門的知識や技能を獲得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭としての勤務経験者(安部)及び教育現場での実務経験のある教員(田口・渡部・小林)、幼稚園勤務経験のある外部講師が、幼児理解、環境の構成等について教授するとともに、実習に臨む姿勢、実習日誌の書き方、実習指導案の立て方、教材研究等を指導する。
到達目標	<p>【科目特有の知識・技能についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児を取り巻く社会の変化をとらえ、新たな課題に創造的に取り組むことができる意欲と広い視野を備えた総合的・学際的な知識や学びを習得する。 ・幼稚園、幼保連携型認定こども園等の社会的役割を理解する。 <p>【汎用能力としての学士力についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をもって、他者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。 ・幼稚園教諭に求められる資質・能力を知り、実習生として必要な態度や能力を身につける。 <p>【態度・志向性についての到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての教育者・保育者の使命感・倫理観・規範意識を身に付け、子ども・保護者・地域から信頼を得られる実践力を身につける。
計画・内容	<p>各回とも担当教員全員が担当する。なお、担当の教員は、幼稚園教諭としての勤務経験者(安部)及び教育現場での実務経験のある教員(田口・渡部・小林)である。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 実習目標の作成、幼稚園・幼保連携型認定こども園についての理解 第3回 実習日誌の書き方 時系列 第4回 環境構成についての理解(外部講師による講義) 第5回 実習日誌の書き方 エピソード記録 第6回 実習指導案の書き方 環境における保育 第7回 実習指導案の書き方 一斉保育 第8回 実習指導案の書き方 一斉保育 第9回 模擬保育 (外部講師による講義) 第10回 模擬保育 (外部講師による講義) 第11回 模擬保育 (外部講師による講義) 第12回 実習直前指導 第13回 事後指導 実習における自己課題と改善のための取り組み 第14回 事後指導 評価表に基づいたフィードバック 第15回 事後指導 教育実習 (幼)に向けての課題の明確化と実習体験の深化</p>

授業の進め方	・基本的には講義形式で行うが、実習書類、実習日誌、実習指導案の作成、模擬保育は演習で行う。
能動的な学びの実施	・実習日誌、実習指導案などを実際に書きながら、質疑応答を行い、記録することの意味、計画、実践、評価することの重要性を学ぶ。
授業時間外の学修	・授業時間外学習(合計60時間程度)。 ・各回ごとに指示された予習、復習を行う。指示の無い回の予習では、実習日誌、実習指導案作成に関する本や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読んでおく。指示の無い回の復習では、配布資料や授業中に書き留めたメモをまとめ、実習の準備に役立てる。 ・実習の目標、実習指導案作成、教材研究、教材準備、模擬保育の振り返り等を課題として課す。
教科書・参考書	「幼稚園教育要領<平成29年度告知>」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年度告知>」 「教育実習・保育実習の手引き」 実習日誌(教育実習用)
成績評価方法と基準	授業参加(20%) 課題・書類等の提出期限の順守、提出の有無、内容(80%)
課題等に対するフィードバック	・実習の目標、実習指導案等については一定基準を満たすまで、教員から指導を受ける。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	・「教育実習・保育実習の手引き」、実習日誌を必ず購入する。 ・無断欠席、無断遅刻、無断早退をすると実習に参加できない。 ・無断でない欠席を3回した場合も実習に参加できない。 ・「教育実習・保育実習の手引き」に、実習が許可されない場合の条件が記載されているので、必ず確認しておく。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・Zoomによるオンライン授業、CampusSquareによる課題学修を行う。 成績評価方法と基準 ・評価基準は変更せず、オンライン課題の評価・フィードバックを行う。